



砥粒加工学会 学会活性化フォーラム
in ABTEC2017



「30年を振り返る 砥粒加工が描く過去・現在・未来」

企画: 砥粒加工学会 若手の会「次世代ものづくり技術研究会(通称:山椒魚)」

砥粒加工学会 ABTEC2017 実行委員会

＜開催趣旨＞ 砥粒加工学会では、若手研究・技術者と学生が参加しやすい活発な学会にするために、学会活性化フォーラムが設置されています。これは、会員の皆様が日頃感じている学会活動へのご意見・ご要望を集約し、理事会で検討するためのフォーラムです。本年度は、ABTEC 開催が第30回目となることを記念し、若手の会(山椒魚)とABTEC2017 実行委員会の共同企画により開催致します。砥粒加工学会を将来にわたって継続的に発展させるために、次の講演・交流会を開催します。積極的に活躍する若手研究・技術者と学生のご参加を募ります。

日 時：平成 29 年 8 月 30 日(水) 16:40～20:00 (砥粒加工学会 ABTEC2017 第 1 日目)

会 場：福岡工業大学 α棟 4 階

〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東 3-30-1

<http://www.fit.ac.jp/shisetsu/campus/index>

内 容：

16:40～18:20 記念講演会

16:40～17:30 「研削加工:温故知新」

学校法人中部大学理事・名誉教授, 慶應義塾大学名誉教授 稲崎 一郎 先生

＜講演内容＞ 稲崎先生が長年にわたり携わってこられた研削加工研究に関して、「研削加工はブラックアートか?」「研削プロセスの無次元数」「プロセスと機械の相互作用」などのトピックを取り上げ、さらに学会活動の思い出、学会のこれからについてご講演頂きます。

17:30～18:20 「流れに逆らわず棹をさす?」

元・東海大学教授 安永 暢男 先生

＜講演内容＞ 重厚長大型産業から軽薄短小型産業への移行期に官・産・学の研究現場を経験された安永先生より、時代のニーズを踏まえながらいかにして一歩でも半歩でも先を行く研究を進めるか、新しい研磨技術や超精密研削技術の開発に携わられたご体験と、その中で感じた人との繋がり大切さなどについてご講演頂きます。

18:30～20:00 交流会 (会場:福岡工業大学レストラン OASIS)

○交流会の参加費:無料(飲み物(アルコール含む), 軽食を準備しています)

○交流会の参加資格:実年齢が 40 歳以下、ならびに気持ち年齢が 40 歳以下(自称)の若手研究・技術者は大歓迎。ただし、実年齢が 40 歳以上の参加希望者は、40 歳以下の若手を積極的に引率してご参加願います。学生の参加も大歓迎です。

○参加申込方法:準備の都合がありますので、学会活性化フォーラムの交流会にご参加を希望する方は、学会ホームページ(<http://www.scoop-japan.com/kaigi/abtec/>)から事前登録して下さい。